

った。また、8月16日～21日の青潮は検見川の浜～幕張の浜、茜浜など港湾外や三番瀬に及んでいたが、18日には縮小に向かい、船橋港と船橋航路にのみ青潮が残るだけの状態となった後、21日に解消が確認された。

3・2 2017年8月2日の水質鉛直プロファイル

2017年7月27日～8月1日の青潮と次の青潮（8月3日から8月7日）の間隔は1日と非常に短かった。この青潮と青潮の間の日である8月2日に青潮発生域に近接した地点(東京湾7)で水質鉛直プロファイルを観測することができたので、その水質鉛直プロファイルを図2に示した。

表2 2016年、2017年の青潮発生状況

期間	発生場所（最大時）	漁業被害等
2016/ 6/14, 15	千葉中央港, 検見川～幕張, 海老川河口	漁業被害は 報告なし
8/29 ～8/31	千葉中央港, 船橋航路, 猫実川 河口（一部三番瀬漁場内）	漁業被害は 報告なし
2017/ 6/14, 15	船橋港南部～船橋航路～茜浜 ～幕張, 千葉中央港	漁業被害は 報告なし
6/19 ～21	千葉中央港～幕張～茜浜～三 番瀬～船橋港・船橋航路	漁業被害は 報告なし
7/27 ～8/1	市原港（一部）, 千葉中央港内, 船橋航路～船橋港内	漁業被害は 報告なし
8/3 ～7	千葉中央港内, 船橋航路～船 橋港内, 稲毛の浜～幕張～茜 浜（断続的）	漁業被害は 報告なし
8/16 ～21	検見川の浜～幕張の浜, 茜浜, 船橋三番瀬, 市川三番瀬, 千葉 中央港, 船橋港（一部）	漁業被害は 報告なし
8/28, 29	千葉中央港, 稲毛の浜～茜浜 ～船橋航路～船橋港	漁業被害は 報告なし
9/1 ～4	船橋三番瀬～船橋港～船橋航 路～茜浜～幕張沖～稲毛の浜 ～千葉中央港～市原港～千種 海岸	漁業被害は 報告なし
10/16 ～20	船橋航路～船橋港（一部）, 幕 張沖	漁業被害は 報告なし

表層の溶存酸素は6mg/L前後あったが、水深が深くなるとともに低下し、水深4m以深では1mg/L以下となっていた。酸化還元電位(ORP)の値は表層で250mV前後を示し、水深3.5m付近から低下し始め、水深5m付近で極少値となった。表層の青潮は一旦解消しているが、下層には酸素の少ない水塊が残っていたことがわかる。

4 まとめ

2016年の青潮発生は2回, 2017年は8回であった。漁業被害の報告はなかった。

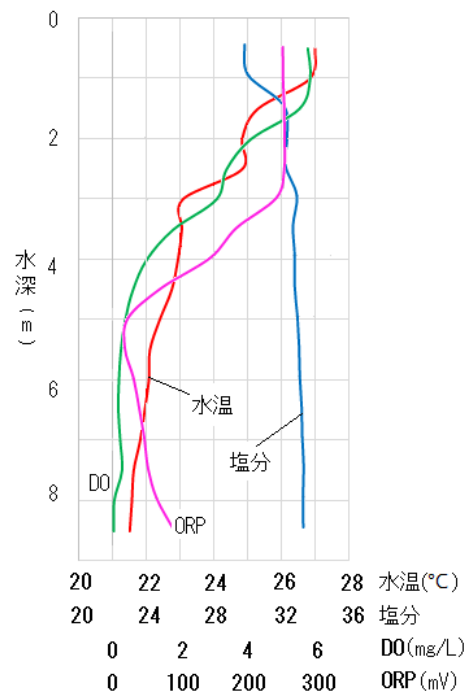


図2 東京湾7の水質鉛直プロファイル(2017/8/2)

引用文献

- 1) 日本科学者会議編：東京湾。大月書店。
- 2) 行方真優, 飯村晃, 横山智子：東京湾の青潮発生状況（2015年）。千葉県環境研究センター年報第15号, 147（2016）。